

令和4年10月三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 令和4年10月25日(火) 午後3時00分～午後3時27分

○場 所 三浦市役所第2分館 第2会合室

○次 第

1 開 会

2 会議録の承認

3 署名委員の指名

石 毛 浩 雄 委員、 石 崎 勇 吾 委員

4 教育長報告

(1) 学校行事について

(2) 学校訪問について

(3) コロナ禍での対応について

5 報告事項

(1) 令和4年9月の後援名義等使用について

(2) 三浦市学校教育ビジョンについて

(3) 令和5年度予算編成方針について

6 その他

7 閉 会

○出席委員（5名）

教 育 長	及 川 圭 介
教育長職務代理	石 毛 浩 雄
委 員	石 崎 勇 吾
委 員	廣 瀬 牧 実
委 員	石 渡 博 幸

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	増 井 直 樹	教育総務課長	塚 本 孝 治
学 校 教 育 課 長	高 梨 真 一	学 校 給 食 課 長	武 田 健 二
青 少 年 教 育 課 長	平 松 恭 輔		

○事務局出席者

教育総務課グループリーダー	浦 西 伸 一	教育総務課主事	吉 田 か お り
---------------	---------	---------	-----------

○傍 聴（1名）

○塚本教育総務課長 本日の教育委員会定例会に傍聴者が1名来られているので、許可をお願いします。

○及川教育長 はい、許可します。

(傍聴者入室)

○及川教育長 それでは皆さんこんにちは。

ただいまから令和4年10月三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、今日はじめに10月3日付けで教育委員に就任いたしました石渡博幸委員を紹介いたします。

本日初めての定例会出席ということになりますので、石渡委員より御挨拶をいただきたいと思っております。

○石渡委員 皆さん改めまして、こんにちは。

今、しみじみ気持ちが引き締まる思いでこの定例教育委員会に参加させていただいております。元々私も6年前までは学校現場にいたということで、高梨学校教育課長をはじめ、増井部長にも色々なかたちでお世話になっておりました。

常に教育委員会には頭が下がる思いで、学校現場をとおして子どもたちのことを考えて様々な教育政策をしていただきました。

そういう意味では、ここでお世話になるということは先程も言いましたが、心が引き締まる思いでございます。

何分実力が伴うか分かりませんが、一人の市民としても学校教育を支えていくという意味で教育委員会とともに、また教育委員の皆さまと一緒に色々なことを考えさせていただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

○及川教育長 ありがとうございます。

それでは続きまして、事務局から自己紹介をお願いします。

(部長から各自、自己紹介)

○及川教育長 ありがとうございます。

本日到きましては、定例会終了後に石渡委員の就任式も予定しておりますので、よろしく願いいたします。

○及川教育長 それでは、定例会を進めていきたいと思っております。

まず、はじめに、前回の会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでに皆さまのお手元に送付してございますけれども、本

案修正等に関する皆さまの御意見をいただいた上で、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて承認をいただきたいと思います。

それでは、修正等につきまして御意見ございましたら、お願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(発言等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。

前回会議録につきまして、令和4年9月三浦市教育委員会定例会会議録のとおりとすることについて、併せまして、誤字脱字等の修正につきましては教育長一任とすることについて、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長 ありがとうございます。

御異議ないようですので、前回会議録につきましてはそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に石毛委員と石崎委員を指名したいと思います。

よろしくお祈りいたします。

○及川教育長 それでは、続きまして次第4「教育長報告」であります。

今回の教育長報告ですけれども、この時期学校につきましては、行事が多い時期となります。これまではコロナ禍ということもありまして、行事につきましても制限があったわけですけれども、まだまだ制限はあるわけなんですけれども、できるだけこれまで行ってきた行事につきましては実施できるものは実施していこうというスタンスで取組んでおります。

まず前回、お話いたしました修学旅行は終わりました。小学校は10月7、8日に日光方面、中学校は3校の内、最終の南下浦中学校が10月17から19日の日程で行ってまいりました。今回の中学校の修学旅行につきましては、3校全てですけれども三浦市立病院の看護師さんに同行していただきました。これまでは旅行会社をとおして看護師の確保をしていたわけですけれども、市内に病院があるということでもありますので、学校のほうでも活用していくということで、2年前から看護師さんに修学旅行に同行してほしいという話についてはいたわけなんですけれども、実際の修学旅行が行われなかったものですから、その話がやっと今年、実現したということでもあります。今後についても、三浦市立病院の看護師さんを同行しての中学校の修学旅行ということで考えていきたいと思っています。

そして、小学校の運動会ですけれども10月22日(土)に剣崎小学校の運動会が行われました。少し風がありましたけれどもいい天気の中での運動会ができたかなと思っています。今度の10月29日(土)につきましては、名向小、南下浦小、上宮田小、初声小の4校が行われまして、11月5日(土)に岬陽小、小学校最後の運動会が行われます。

その他の行事につきましては、11月3日に三崎小学校の150周年の周年行事を行います。祝日を利用して午前中につきましては、体育館で式典と祝賀式を行い、夕方からは校庭で行います。午前中は体育館で行いますのでどうしても入場制限をせざるを得ないことがあって

二部制ということで、午後については多くの方に学校に来ていただくということで、校庭で行います。最後には、旧三崎中学校のグラウンドから花火を打ち上げるということでもあります。18時25分から4分間程度ということですが、花火を打ち上げるということも予定されています。

それから11月につきましては、学校訪問、3年振りになりますが行います。教育委員さんに市内11校を回っていただきます。日程といたしましては、皆さんに参加の確認をしているところではありますけれども、11月15日（火）、17日（木）、18日（金）の3日間で回りたいという風に思っております。3年振りということもあって、学校もちょっと構えてしまうところもあるのかなと思いますので、それに対しての配慮をしながら今回の学校訪問については実施していきたいと思っております。

まだコロナ禍ではありますができることはやっていこうという基本的なスタンスを持ちながら取り組んでいますけれども、どうも様子を見ますと第8波が来るんじゃないかという報道もありますが、インフルエンザとダブルで流行が来てしまうのではないかという風なこともございますけれども、そういうことの配慮も十分にしながら、学校ってとても密で、密の話をすると仙台育英高校の監督のコメントじゃないですけど「青春って密だ」なんていう風に言っていましたけど、学校教育は小さい子ほど密ですからね。その中でもコロナ禍での対応を考えながらできるだけ元どおりと言いますか、できるだけやれることをやりながら学校教育を充実させていきたいと思っております。

教育長報告は以上です。何か御質問等ございましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。

（発言等なし）

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければ次に進みたいと思います。

それでは、次第5「報告事項」に入りたいと思います。

まず、(1)令和4年9月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○塚本教育総務課長 それでは令和4年9月の後援名義等の使用について御報告いたします。

議案、資料1ページ、資料1を御覧ください。

令和4年9月に資料記載の教育総務課関係7件、学校教育課関係2件の申請について、後援名義の使用承認をいたしました。

内容等について御不明な点がございましたら御質問をお願いいたします。

○及川教育長 報告は終わりました。御質問等がございましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。

（発言等なし）

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければ次に進みます。

続きまして、(2)三浦市学校教育ビジョンについて、報告をお願いします。

○塚本教育総務課長　それでは学校教育ビジョン地域協議会等について御報告いたします。

6月に実施いたしました、保護者アンケートについては、その取りまとめが出来ましたので、お配りした資料「学校教育ビジョンにかかる保護者アンケート結果分析」を御覧ください。

重要視する教育ですけれども、「基礎的・基本的な学力を伸ばす教育」、「自尊心や思いやりなどの心を育てる教育」、「社会性やコミュニケーション能力を伸ばす教育」、「マナーや社会のルールを身につけさせる教育」が多く回答されていました。

これらの教育を実現させるための学校の規模については、「学年1学級から2学級」、「全学年複数学級」、「1学年複数学級が良いが、統廃合には反対。」といった、今よりも大きな規模の学校を望む回答の合計が73.5%といった結果となりました。

また、統廃合については、「複式が見込まれる学校から段階的に統廃合を進める」といった回答が65%の結果でありました。

また、統廃合には反対する理由の多くは「通学の安全性が心配」といったことが46%と、多くの回答がございました。

資料の最後に4つのまとめを記述しておりますが、(4)で、「スクールバス運行を望む声が多い。」につきましては、自由記述にも多く寄せられていたことから今後の大きな課題であると考えております。

次に9月に実施いたしました、市民アンケートですが、資料の一次集計結果を御覧ください。

設問の3-②の学校規模については、59.6%が「1学年2学級以上」が良いという回答となり、複数学級を求める回答が保護者よりも一般市民のほうが多かったという結果となりました。

また、設問の3-③統廃合に関する設問では、保護者の結果と異なり、児童の少ない学校からではなく、規模を確保する意味での統廃合が38.2%と、一番多く回答がされました。

なお、保護者アンケートの結果分析同様に、11月には市民アンケートの分析をまとめたいと考えております。また同時に、教職員、保護者、市民アンケートの3つを総括するまとめについても11月にまとめ上げたいと考えております。

なお、本日配布の2つの資料につきましては、10月17日開催の三崎地区・南下浦地区合同の地域協議会においても御確認いただいております。

報告は以上です。

○及川教育長　報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○石毛委員　学校教育ビジョンに係る結果分析のまとめについて、1番、2番につきましてはそもそもの学校の在り方、保護者が求める学校はこういうことが望ましいと書いてあるんですが、これに関しまして現在、教育ビジョン等々また教育委員会としてどのように考えておられるかお聞きしたいです。

○塚本教育総務課長　こちらのアンケート結果につきましては、令和元年度にお示しいたしました三浦市学校教育ビジョンの基本的な考えに合致するものが結果として現れたと考えております。

○石毛委員　　ということはやはり、保護者のほうでも教育ビジョンと同様の考えであると捉えてよろしいですか。

○増井部長　　先程、教育総務課長からお話いたしました、市民アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートをまとめて、その結果をもう一度考察してみまして、次の11月の地域協議会の中で御意見をいただこうと思っております。今の段階での教育委員会としての考えとしては、今の学校教育ビジョンの基本的な考えについては3つのアンケートとも市の意見に合致したものと捉えておりますけれども、地域協議会の御意見をお聞きして、その考察もまとめて、市としての考えもまとめたいと思っております。

　　前回の地域協議会の中では、委員の方から、行いました3つのアンケートの結果は、市民の意見も把握できたという確認が委員の中からはなされましたので、それにつきましては今後の見直しの基礎となるものだと捉えております。

○石毛委員　　地域協議会の皆さんの意見をまとめたもののご報告をお待ちしております。

○及川教育長　　3つのアンケートの報告については次回ということよろしいですか。

○塚本教育総務課長　　11月中旬に地域協議会を予定しておりますので、定例教委はその後になりますので、地域協議会で御意見いただいた後に御報告できると思っております。

○及川教育長　　教職員、保護者そして市民ということで3つのアンケート、今の説明にもありましたけれども、若干やっぱり数値的には違いがあるんですけども、全体を見ての3つをまとめて分析ということも大切なので、そこについてはしっかり行って11月にお話しさせていただきたいと思えます。

　　その他いかがでしょうか。

○廣瀬委員　　学校教育施設に期待するものとして防災拠点ということもこちらのアンケートにも表れてきていますけれども、仮に使用しなくなった学校っていうのは、今でも全ての学校が多分、修繕が必要な学校が多いと思うんですけども、使用しなくなった学校っていうのは現実的に継続して防災拠点というものになり得るのでしょうか。

○増井部長　　防災担当課からは、もしも学校施設を使用しなくなって日常的に使用されない施設となった場合でも、すぐにでも使えなくなるというわけではなく、ライフラインが止まった施設だとしてもいざという時には使えるという判断をされております。

　　まだ、本当にどう使用していくのか、まったく使用しなくなるのか決めていない状況でございます。

○及川教育長　　その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようでしたら次に進みます。続きまして、(3)令和5年度予算編成方針について、報告をお願いします。

○塚本教育総務課長 それでは令和5年度予算編成方針について説明いたします。

議案、資料の2ページ資料2を御覧ください。

資料記載のとおりですが、令和5年度の財政の見通しについて御説明いたします。

まず、歳入のうち市税に関しては、固定資産税の減少などにより、約2千6百万円の減額を見込んでいます。普通交付税については、約1億6千万円の増額、臨時財政対策債につきましては、約2億3千万円の減額を見込んでいます。歳入全体で、令和4年度当初予算と比べ約1億6千万円の減額を見込んでおります。

次に歳出になりますが、定年退職の延長の影響により、約1億5千万円の減額、ごみ処理広域施設や防災行政無線の起債の償還などが始まりまして、約1億1千万円の増加、後期高齢者の増加による特別会計への繰出し金の増加も見込んでおります。その他の経費につきましては、前年度当初予算と同額を見込んでおります。

これらの歳入歳出の状況により、現時点での財源不足額は、約2億4千万円となっております。引き続き歳入の確保と、歳出の削減にも取り組まなければならない。としています。

予算編成方針については以上となります。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○及川教育長 まだ方針ということで具体が出てきているわけではないんですけれども。一応こういう方針で来年度の予算編成をしていくということであります。

今日は審議事項がないので、次はその他に入りますが、質問はございませんか。

○石崎委員 今回の歳出の見込みで不足額が約2億4千万円あるということですけども、これはどういう風な対応をしていくのでしょうか。どのように歳出を少なく抑えていくのか、歳入をもう少しもらえるような動きをするのかとか、どういう風に対応していくのか教えてください。

○塚本教育総務課長 これにつきましては、各部門といいまして教育部でいうと一体感政策部門という部門で、市民部と教育部ですけども、その中でまずどこか削れるところはないか、収入が見込めないかとか調整会議をして、その後財政当局とのヒアリング、市長とのヒアリングの中で査定をしていく作業を行い、不足額を埋めていく調整をしていきます。

○増井教育部長 まずは歳出を抑える努力をした上で、実際に足らなくなる、歳入が歳出よりも少ないという場合には基金の取崩し等によって支出を補っていくのが通例になります。

○及川教育長 一言でいえば厳しいということですね。

○増井教育部長 貯金を下ろして生活していくみたいな感じですね。

○塚本教育総務課長 去年のこの時期は不足が3億という話からスタートしました。

○及川教育長 その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。なければ次に進みます。
続きまして、次第6「その他」に入りたいと思います。事務局から何かありますでしょうか。

(特になし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。
それでは、教育委員の皆さんから何かございましたらお願いします。
いかがでしょうか。

(特になし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。ないようでしたら、以上で「その他」を終了します。
それでは以上をもちまして、令和4年10月三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。
どうもお疲れ様でございました。

◇ 午後3時27分 閉会 ◇
